

## 7 河川空間の利用状況

### 7 - 1 河川の利用状況

米代川は、河口付近の水面上でジェットスキー、高水敷での野球やサッカー、グランドゴルフ、ゲートボール等に利用されている。

また、天然アユが遡上する米代川では、アユ釣りのメッカとして全国に知られわたり、毎年8月に全国鮎釣り大会が開催され全国から釣り客が訪れている。さらに伝統的な「なべっこ」や「<sup>しやま</sup>鯪流し」などの行事が開催されている。



出典：能代工事事務所資料

#### 【全国鮎釣り大会（田代町）】

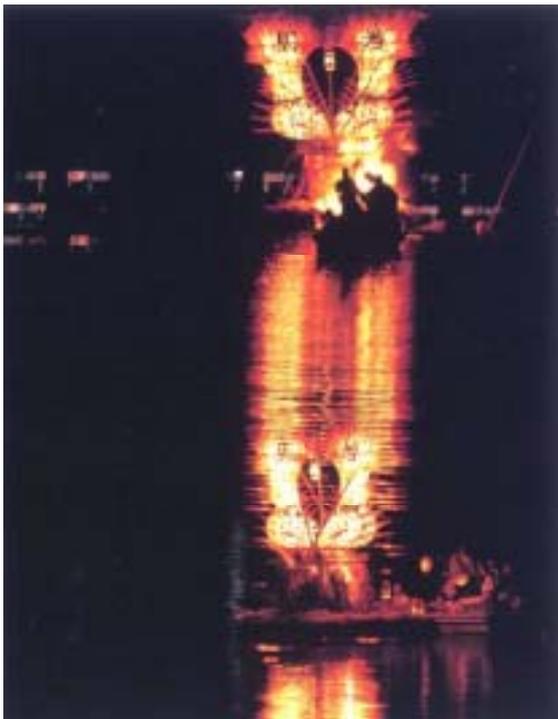
毎年8月14日には全国鮎釣り大会が開催さ、全国から太公望たちが集合し、米代川や支流早口川・岩瀬川を舞台に腕を競い合う。



出典：能代工事事務所資料

#### 【なべっこ】

秋には収穫の喜びを分かち合う「なべっこ」が開催され、伝統的な行事の場として米代川が利用されている。



出典：第4回Photoinよねしる川写真コンテスト作品集



出典：第9回Photoinよねしる川写真コンテスト作品集

#### 【<sup>しやま</sup>鯪流し（能代市）】

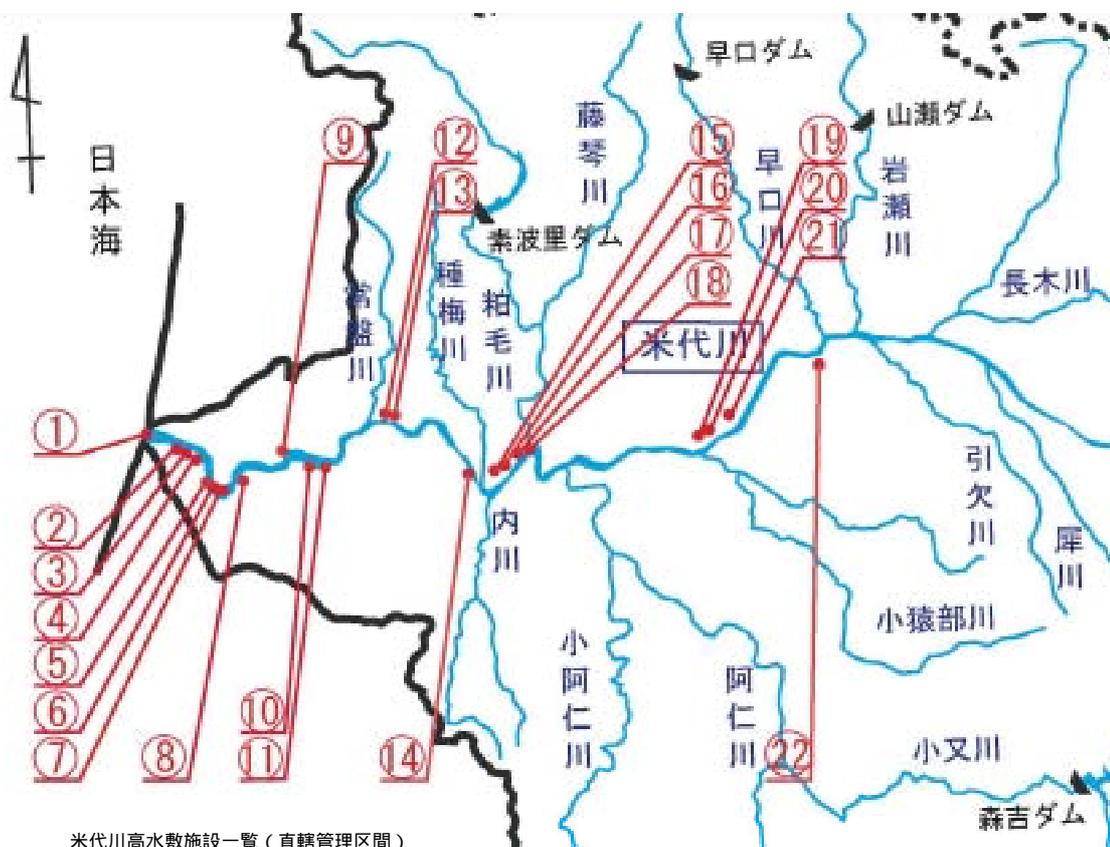
阿部比羅夫や坂上田村麻呂が蝦夷征伐の際、川に灯籠を流し、敵を威嚇した伝説が起源となる勇壮な祭りである「能代ねぶながし」のフィナーレを飾る「鯪流し」。灯籠最頂部の鯪を米代川に焼き流し、これを哀調ある笛と太鼓が見送る。

## 7 - 2 高水敷の利用

米代川の高水敷は、運動場、公園などに利用され、人々の憩いの場となっている。とくに広い高水敷が形成されている河口部の能代市では多くの利用があるほか、二ツ井町や鷹巣町、田代町で河川公園や運動場などとして利用され、ゲートボールや野球などのスポーツの場や、豊かな自然と触れ合うことができる安らぎの場として利用されている。

米代川では、河川環境の保全の必要性及び高水敷の利用が年々高まっていることに鑑み、これに適切に対応するため、平成2年3月に「米代川水系河川環境管理基本計画」を策定し、河川の適正な保全と利用のための施策を展開している。

米代川の高水敷における主な施設について、以下に示す。



米代川高水敷施設一覧（直轄管理区間）

記号	種 類	占用面積 (m2)	占用者	記号	種 類	占用面積 (m2)	占用者
	ボートヤード	1,162	能代市長		運動場	103	能代市長
	公園（児童公園）	1,017	能代市長		運動場	4,569	能代市長
	公園（湖畔公園）	1,056	能代市長		運動広場	22,691	二ツ井町長
	公園（近隣公園）	21,034	能代市長		運動広場	19,794	二ツ井町長
	河川緑地	264	能代市長		運動広場	1,381	二ツ井町長
	植樹	482	能代市長		河畔公園	48,715	二ツ井町長
	並木・広場整備	3,954	能代市長		運動広場	1,602	二ツ井町長
	河川緑地	633	能代市長		河川運動公園	15,580	鷹巣町長
	運動公園	23,000	能代市長		多目的河川公園	46,050	鷹巣町長
	運動場	385	能代市長	㉑	ゲートボール場河川運動公園	873	鷹巣町長
	運動場	10,700	能代市長	㉒	米代川河川公園	78,179	田代町長
	運動場	103	能代市長		計	303,224	

図7-1 米代川高水敷の利用状況図



出典：北羽新報社提供

【能代市河川公園】  
コスモスロード等が整備され、地域住民の散策の場等として利用されている。



出典：第6回Photoinよねしろ川写真コンテスト作品集

【ニツ井町河畔公園】  
グランドゴルフ等のスポーツの場として利用されている米代川。

### 7 - 3 内水面漁業

米代川の内水面漁業における主な漁種は、アユ、サケ・マス類、ウグイなどである。とくにアユは、放流活動なども行われ、年々増加傾向にあり、H11年では最も多い35tの漁獲量となっている。

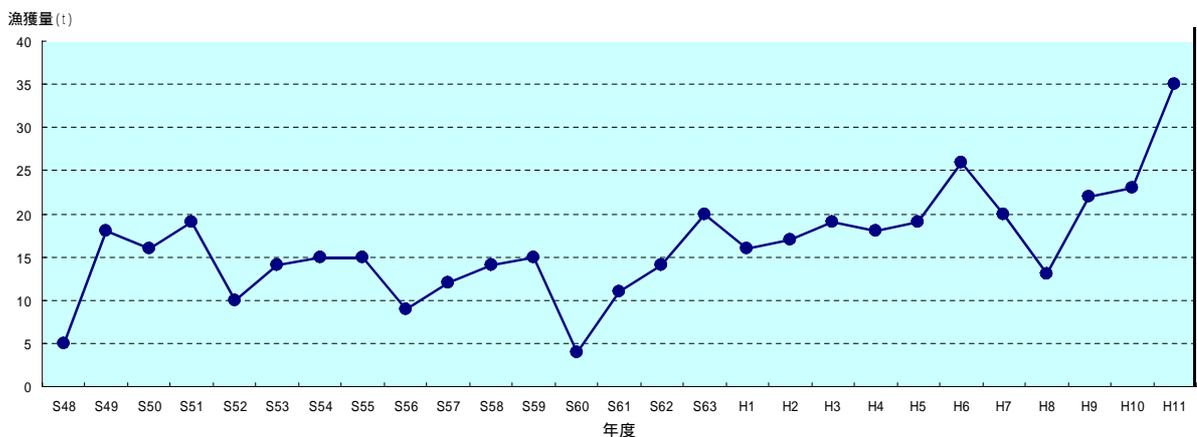


図7-1 米代川におけるアユの漁獲量の推移（昭和48年～平成11年）

資料：農林水産省東北農政局「内水面漁業生産統計調査」